

アクトをさがせ

けいせいえん訪問

～8月5日(日)～

藤田
なぎさ

社会奉仕委員長をはじめ10名の会員で、ジュースやとうきびなどの出店のお手伝いと、駐車場の整備のお手伝いをしてきました。

私達の他にも系列の幼稚園の方や大谷短大の学生さんなど、多くのボランティアの方が参加していました。焼き鳥やとうきびをもらって食べたりと、自分達も楽しみながら、お年寄りみなさんの夏の楽しいひとときのお手伝いができて、よかったです。

ただ、夏祭りが終わると余韻を残すまもなく建物の中へ、送迎のバスへと誘導される姿を見て、ちょっと可哀想な、悲しい気分にもなりました。

来年もまたお手伝いをしたいと思います。参加した会員内でも話が出ていましたが、浴衣を着て参加している人も沢山いたので、今度参加する時は浴衣がいいかな？



第641回 「世界を救おう」

～国際奉仕委員会～

岡崎
早智

古切手・プリペイドカード・書き損じハガキなどの集め方・集める種類・集めるときの注意事項などを学習し、実際に切手を切る作業を行った。集めたもので何が出来るのか？どうなるのか？を学習し、最後にクイズ形式で質問されたが、意外に難しくほとんどの人たちが間違えていました。

古切手集め等は身近にできるボランティア活動ですが、その後についてはわからないので、今回の例会はとてもためになりました。今年は目標を持って古切手を集めるようなのでできるだけ協力しようと思いました。

～本日のメニュー～

- ・あんかけやきそば
- ・中華スープ
- ・ご飯



実行委員長
吉岡 圭司

24時間ソフトボール大会

実行副委員長
東野 昭彦

今回で第6回目を向えたソフトボール大会でしたが、今回実行委員長として感じたこと・反省点等述べさせていただきます。

収支の結果を見て、予算の23万円でタンDEM車を搬入すれば良いと考えたのは私だけでしょうか？確かにそう言われるとそうかもしれません。しかし、今回初めて経験したという方も多く、「奉仕を通じて親睦」を図るというロータリー精神は学び取れなかったのでしょうか？

私が考えるローターアクトとはこういう事を実行していく事と考えます。また、今大会を通じて楽しかった事、苦しかった事、各人それぞれですが、皆さんの頭の中にはあの時こうだったという良い思い出になったかと思えます。

今後も様々な活動を通じて、皆さんと親睦を図り、良い思い出を築きあげていきたいと思えます。

まず、私のような者が副委員長となってしまう、吉岡委員長には大変負担を掛け申し訳なく思っております。そう思いながら24時間フル出場するぞ！と、心に誓い挑んだ訳ですが、2時間逃げました。本当にすみません。

途中ボールボーイをし居眠りをこきファールボールが直撃！サボったバツかと思えます。正直、24時間起きてるのも辛いのに、更にソフトボールしながらだなんて思っていました。終わってみると達成感・充実感があり、有意義な時間だったと感じました。

24時間以上起きっぱなしの遠藤会長には脱帽でした。皆さん本当にお疲れ様でした。

④ 新田経営アクトOBの言葉 ④

24時間ソフトを通じてクラブ内の団結も深まったと思えます。「とうもろこし」や「焼きそば」「ジャがバター」も、とても美味しく頂きました。私は久しく体を動かしていなかったので、次の日は『バキバキ』でした。

来年も続けるなら、(後楽園球場はもう使用できないというのを聞きましたので)場所の確保に今からでも行動した方が良いでしょう。

船沼 雅人OB

ごくろうさまです。ソフトボールに一言

～その最初の目的、意義等を全員全てが周知徹底すれば、さらにより良い物になるでしょう。～

太田 和則OB

今年も24時間寝ないで頑張ったのですね。いつかは始球式に市長が来てくれるといいですね。

伊藤 賢治OB

ローターアクトのみなさん大変お疲れ様でした。この企画を通して帯広市民への良きアピールができたのではないのでしょうか。

また、より一層の会員の団結力が高まったことご察し申し上げます。今後ますますのご活躍を期待しております。

葉谷 勝彦OB

土日の朝野球と24時間ソフトは、きつかった！でも来年も開催するんでしょう？

菅野 献OB

ライラセミナー in紋別 ～9月7日(金)～9日(日)～

岡崎
早智

ライラセミナーでは、初めて会う人たちと3日間一緒に行動するため、最初は緊張と不安で一杯でした。しかし、私の参加したグループ(10名)ではすぐさま仲良くなったため、最初の行事のグループ対抗のボーリング大会の時からおおいに楽しむ事ができました。2日目の時もグループの人たちと一緒に流氷タワーやごまちゃんランドを見学したりガリンコ号に乗るなど市内観光を楽しみました。ほたての貝むきも体験したのですが、意外に難しく黙々と挑戦していました。

グループの人たちとすっかり仲良くなったため、夜もみんなで飲みに行ったり、ホテルに戻ってから誰かの部屋で語り合うなど、とても楽しい時間を過ごしてきました。

一番大変だったのは、2日目の夜に行われたミーティングの時です。自分たちが選んだテーマ「21世紀を生きる私たちはなにをなすべきか」について意見を言い合ったのですが、幅広い意見が出てきたのでどこに重点をおくか決めるだけでも大変でした。時間はオーバーしてしまいましたが、なんとかまとめる事もでき、発表の時に拍手をもらうこともできたのでごく印象に残っています。

ライラセミナーでは、アクトとはまた一味違った色々な体験・経験ができました。自分自信が成長できるような良い機会だと思うので、まだ参加した事がない人は是非一度参加してみてください。

ライラセミナー in紋別 ～9月7日(金)～9日(日)～

河村
知明

ライラセミナー(Rotary Youth Leadership Awards)に参加して、一番学ばずが多かったのはグループミーティングだった。

自分はサブリーダーとして、リーダーを助け、ミーティングを進行する立場になったので、結構緊張した。出来るだけ、みんなの意見を引き出して、学び会える場にしたいかったのだが、時間も制限があり、興味や関心も様々な人の集まりの中で、全員の意見を引き出す事は容易でない事を学んだ。時間をもっとあれば、かなり濃密な話し合いが出来たと思う。

グループの発表では、自分たちの班は「21世紀に生きる私たちは何をすべきか」と言うテーマに対し、コミュニケーションを中心とした、6つの考えを発表した。そして、様々な形でコミュニケーションをとる事の出来るライラセミナーは最高だ、と言う言葉で締めくくった。

21世紀にむけて子づくりに励もうという発表をしたグループもあり、色々な視点がある物だと感心した。

3日間を通し、様々な地域で様々な仕事に携わる人と交流する事ができ、今まで考えもしなかった事なども考える事が出来た。また、観光や夜の交流会も楽しく過ごすことが出来て良かった。ライラセミナーの目的はきちんと達成出来たと思う。

菊の節句

3月3日の桃の節句、5月5日の端午の節句と同様、9月9日にも菊の節句があります。

秋の花を代表する菊には、昔から邪気や病を払いのける力があると考えられていたそうです。

その菊の花を杯に浮かべて長寿を祝ったり、「菊の着綿(きせわた)」という行事が行われたりしていました。

「菊の着綿」というのは、9月8日の夜に菊の花に綿をかぶせ、9日の朝、綿に移し取った露や香で体をふいて長寿を願うというものです。

身近なところでは、秋になると見かける菊人形も菊の節句の名残だそうです。

長月 ～季節のはなし～

彼岸

「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、彼岸を境に、夏から秋へ、冬から春へと季節がかわります。彼岸とは、春分・秋分の日を中日として、前後3日ずつにわたる1週間のことをいうそうです。

昼と夜の長さがほぼ同じになる彼岸の頃は、あの世に近くなるといわれるため、先祖などの霊を供養(くよう)する習わしがあります。

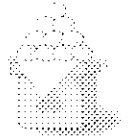
仏壇におはぎを供えたり、菊などの生花を持って墓参りに行ったり、遠く離れた先祖たちをいつくしむ心優しい習慣といえるでしょう。

秋の七草

秋になると、桔梗などの秋の七草をあしらった葉書や便箋が出回ります。

秋の七草といっても今ではあまりなじみがないようですが、桔梗をはじめ、萩、薄、葛(くず)、撫子(なでしこ)、女郎花、藤袴(ふじばかま)の7種の秋に咲く花のことをいいます。

控えめながらもどこか気品が感じられる秋の七草は、昔から人々に愛されてきた、日本の秋にふさわしい草花と言われています。



9月の新入会員

氏名	道見 彩 (どうみ あや)
誕生日	S55. 3. 1
ニックネーム	あや
マイブーム	色々な所に出かける事
ひとこと	たくさんお友達を作りたいです。 よろしくお願ひ致します。

編集後記

9月の広報誌は2部構成となりました。それぞれ別の担当者が作成しているため、雰囲気の違いものとなっていますがいかがでしたか?

第3号の方ではテーマを「秋」にしたので、ラインを楓やススキにして、余白に秋(9月)に関するお話を載せてみました。他の月の季節の話もありますので聞きたい方は岡崎までどうぞ。

担当 岡崎 早智